製造業支える人材育成

中部地域の大学では、新拠点や専攻コースの開設、連携協定の締結などで製造業を支える人材育成に乗り出している。産業界とのつながりも強固にして実践的な教育を展開し、多様化するビジネスに対応できる人材を輩出する。

■大学

産業界とのつながり強固に

新拠点・専攻コース開設

名古屋活性化も提案

名古屋大学は2013年4月に炭素繊維強化プラスチック（CFRP）など複合材料の研究開発拠点「ナショナルコンポジットセンター」を開設する。CFRP用プレス成形機や切削加工機、性能評価装置などを導入する。

同センターでは、直径2㍍級の大型材料の成形技術を開発するほか、切削加工技術や耐火性の評価技術などの確立を目指す。航空機や自動車、鉄道車両、風車などの軽量化や生産コスト低減に寄与するのが狙いだ。全国的な組織とするため、名大のほか東京大学や産業技術総合研究所、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、自動車関連や航空機関連メーカーに運営協議会への参加を呼びかける。

大同大学は初の文系コースとして12年4月に情報学部総合情報学科に「経営情報専攻」コースを新設した。経営、流通、環境、国際の4分野を柱とし、製造業を支える事務系総合職の人材育成を目指す。1期生として34人が入学した。同コースの専任教員は5人。マーケティング、物流コストと在庫管理、環境経営、異文化コミュニケーションなどのカリキュラムで構成、幅広い領域で事業をマネジメントできる人材を育てる。また企業のサプライチェーンを調査・分析する演習や、米国やアジアの大学への短期留学なども行う。

愛知大学は4月に名古屋市中村区に名古屋キャンパスを開設した。法律、経済、経営、現代中国、国際コミュニケーションの文系5学部を新キャンパスに移した。約7000人の学生がここで学ぶ。

新キャンパスに入る5学部では、国際協力機構（JICA）や名古屋国際センター、東海財務局、中京テレビから講師を迎えた新講座を始めた。国際交流や多文化共生の事例を用いた講義を行う。「実社会の現場への理解を深めつつ、名古屋の活性化策も提案する」（佐藤元彦学長）考えだ。

一方、中国の清華大学（北京市）とは自動車分野で学術協定を結んだ。燃料電池自動車（FCV）などの次世代自動車の普及に向けたインフラ整備や産業政策などについて共同研究する。

愛知大の国際中国学研究センターと清華大の自動車工学部が定期的に交流会を開催。愛知大が次世代自動車の普及による産業構造の変化などについての研究成果を、清華大は技術発展の方向性にかかわる研究結果を報告する。互いの研究成果を研究に生かす。

名古屋工業大学は港湾空港技術研究所や、自然科学研究機構の基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所と連携協定を結んだ。研究設備の相互利用を通じて研究者のネットワークを強化、既存の研究テーマの深堀りや新技術の開発につなげる。

港湾空港技術研究所とは海洋や沿岸での防災、環境における共同研究を、自然科学研究機構とは基礎科学分野の共同研究を推進する。またそれぞれの研究所の研究者が名古屋工大で講義もする。これからも連携する研究機関を増やす計画だ。

大同大学は初めて文系専攻コースを設置

愛知大学はJR名古屋駅近くに新キャンパスを設置した

多様化するビジネスに対応

実践的な教育を展開

愛知学院大学は経営学部で西濃運輸（岐阜県大垣市）の寄附講座を開講した。事業環境の激しい変化に独創的な手法で対応する企業の姿勢を学ぶ「企業経営特論」講座。2年生以上の学生を対象に、前期と後期で各50人程度が受講する予定だ。

同講座は西濃運輸の社員が講師となり、同社が物流業界で勝ち残るために実践している事例を題材として取り上げる。ワークショップ形式の講座で、1回あたり90分。前・後期に各15回開く。大野栄人学長は「企業の生の声を聞き、大学教員の講義では難しい実践の部分を補ってもらう」とその狙いを語る。

中部大学は清水建設と共同で、春日井キャンパス（愛知県春日井市）で次世代電力網（スマートグリッド）システムの実証実験を6月に始める。空調や照明、実験設備などの電力を学部ごとに制御し、電力使用量の15％削減、ピーク電力の25％削減を図る。

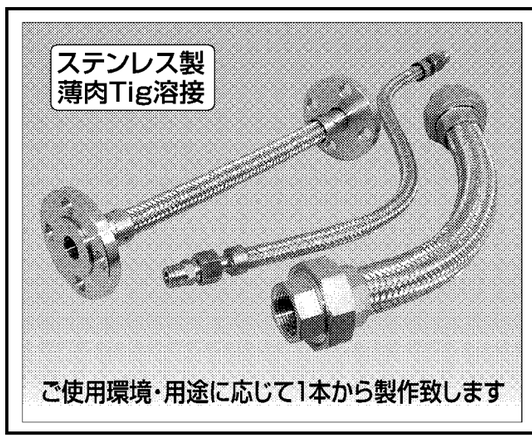
まず生命健康科学部に導入する。1億円を投じて太陽光発電装置やガスコジェネレーション（熱電併給）システム、蓄電池を導入。蓄電した電力をピーク時に使う。

また同学部の全5棟の空調や照明を一括管理して、設定したピーク電力値内に収まるよう制御する。空調と照明の制御だけでは数値内に収められない場合は、実験設備の利用者に設備の停止や稼働時間変更などの節電を要請する。この取り組みによって、年間1000万円の電気料金削減を見込む。

実験設備も含めて複数の建物を一括制御するシステムの実証実験は、国内の大学では先進的な試みだ。13年には応用生物学部や工学部でも導入し、より広範囲での効果を実証する。

愛知学院大学は西濃運輸の寄附講座を開設

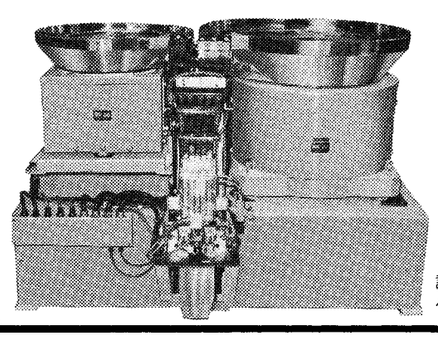
粘着性物質の
くっつきを防止するシール状シート材
CTTファブリックシート
特許出願中
立体構造ファブリック×シリコーンゴム
食品衛生法：使用条件100℃を超える材料の抽出試験に合格
手軽で貼りやすい粘着剤付きシート
CTTファブリックシートの特長
シリコーンコーティングを上回る非粘着（離型）性
高温でも衰えにくい非粘着（離型）性
すぐれた耐熱性・耐久性
安定した摩擦性能
カット加工しやすいシート材
シール感覚で貼れる粘着シート
主な用途　粘着テープ製造ライン／コールドグルー・ホットメルト・各種接着剤、使用ライン 未加硫ゴム・生ゴム搬送ライン／ラベル・シール類等、製造メーカー・包装ライン 食品類、搬送加工・焼成ライン
各種表面処理および樹脂製品・ベルト
株式会社 吉田SKT
本社／名古屋市西区花の木一丁目12番20号　TEL(052)524-5211　FAX(052)524-5287
事業所／東京・名古屋・山口　営業所／横浜・大阪・福山・広島　各地事業所・営業所にて迅速に対応させていただきます。
http://www.y-skt.co.jp



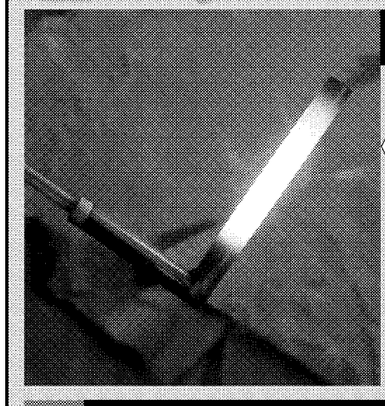
あらゆるニーズにお応えできる
手作りのフレキメーカー！
多品種・別作・短納期
ISO9001:2008認証取得.本社
登録番号：B2007Q10129R1S
100%受注生産
中日技研工業株式会社
〒462-0064 名古屋市北区大我麻町254-1
TEL〈052〉902-0505　FAX〈052〉902-0546
URL：http://www.cgk-flex.co.jp

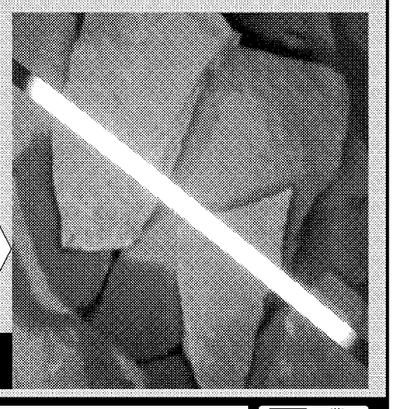
ISO9001・14001認証取得
名東電産
信頼性の高い製品をお届けします。
自動車用基板
高周波用基板
通信機用基板
LED用基板
産業用基板
電気絶縁材料等
MEITO DENSAN CO.,LTD.
設計から試作量産まで一貫生産対応　プリント配線基板 等製造販売
名東電産株式会社
本社工場：愛知県小牧市大字三ッ渕119-1　☎〈0568〉72-2231(代)　FAX〈0568〉75-2201
第二工場：愛知県小牧市大字三ッ渕1870-1　☎〈0568〉72-2233(代)　FAX〈0568〉72-9772
清水工場：静岡市清水区横砂西町12-58　☎〈0543〉06-1329(代)　FAX〈0543〉66-1330
東京営業：東京都町田市原町田5-13-1　☎〈042〉728-0848(代)　FAX〈042〉728-0869
http://www.meito-densan.co.jp　E-mail:sales@meito-densan.co.jp

省力化にエスケー工業のパーツフィーダー
あらゆる部品の整列を……
あらゆる手作業の省人化を……
あらゆる工程の自動化を……
……考案します……
豊富な実績が省力化のお手伝いをします。
●ワークを御送り下さい。テストの結果をお報せします。（カタログ謹呈）
計数装置付
パーツフィーダー
パーツフィーダー・直進フィーダー・供給ホッパー・自動化装置設計製作
エスケー工業株式会社
〒454-0822　名古屋市中川区四女子町3-6
TEL〈052〉352-3205(代)　FAX〈052〉353-6404
E-mail:skkogyo-03@deluxe.ocn.ne.jp



ヒーターのパイオニア
三洋熱工業のヒーターシリーズ
超高温型カートリッジヒーター
①熱盤温度1000℃で使用可能
②熱効率が非常に良い
③装置の小型化が図れる
④耐震性及び機械的強度が優れている
①炉内温度1100℃で使用可能
②温度精度の高い制御が容易になる
③曲げ加工ができる
④耐震性及び機械的強度が優れている
超高温型シーズヒーター
※標準品使用以外でも、ご注文に応じて制作いたします。ヒーターの外径、長サ、電圧電気容量、リード線長サ等ご指示下さい。
三洋熱工業株式会社　〒487-0025 愛知県春日井市出川町3-15-7
TEL.0568-51-2851　FAX.0568-51-2852
URL:http://www.snk-kk.co.jp





絆を感じるモノづくり
～東海・北陸産業界～